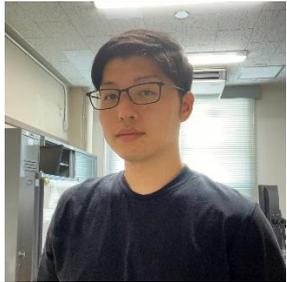
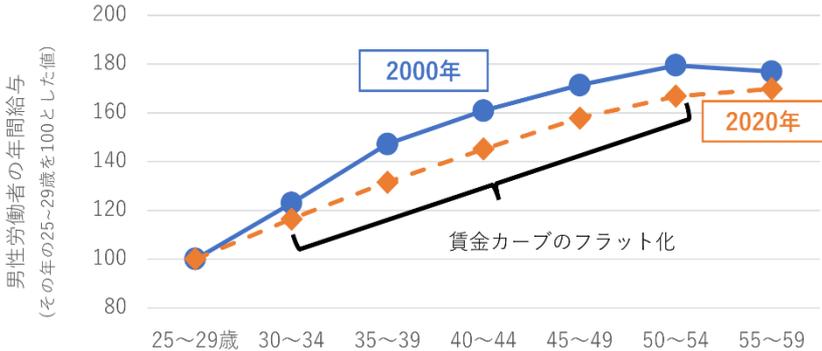


<p>経済・経営</p>	<p>【代表的な研究テーマ】</p> <p>□ マクロ経済学におけるデータ分析による実証研究</p>
<p>key word</p>	<p>課題解決に役立つシーズの説明</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ マクロ経済学 ■ データ分析 ■ 経済モデリング ■ 高齢化 ■ 価格指数 	<p>マクロ経済に関してデータ分析手法を用いた実証研究を行っています。より具体的には、経済モデルを用いた高齢化の研究や価格指数に関する研究を行っています。学術研究のみならず実社会においても、(1)「経済モデルによるデータ分析」や(2)「経済活動に関する指数の構築」についてお役立ちすることができると考えています。それぞれのスキルに関連する研究実績について簡単にご説明します。</p>
	<p>(1) 経済モデルによるデータ分析</p> <p>[A]の研究では労働者の高齢化が賃金カーブに与えた影響を分析しています。この研究においては経済モデルを構築し、モデルのパラメータをデータから推計し、それらを用いて労働者の高齢化が賃金カーブに与えた影響を明らかにしています。この分析を通じて、(図)に示されているような「賃金カーブのフラット化」と呼ばれる現象を高齢化で説明できることが示唆されています。</p>
<p>井上 俊克 Toshikatsu Inoue</p>	
<p>経済学部 講師</p>	
<p>【プロフィール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 滋賀大学経済学系講師 (2023年4月着任) ・ 博士(経済学) ・ 一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程修了 ・ 一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了 ・ 九州大学経済学部経済工学科卒業 ・ 大阪府立寝屋川高等学校卒業 ・ 交野市立第四中学校卒業 	<p>(図)男性労働者の賃金カーブ</p> <p>出典: 民間給与実態統計調査、1年勤続者の年齢階層別平均給与</p>
<p>【主な社会的活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本経済学会 	<p>(2) 経済活動に関する指数の構築</p> <p>[B]では価格指数の計算方法について研究を行っています。この研究においては感染症流行時の小売店のマスクの販売データを用い、様々なマスクの価格指数を計算しています。その価格指数の中でも、理論的には需要ショックを観測可能であることが示されていた価格指数においては、実際に流行初期段階などで大きな需要ショックが観測されました。</p> <p>[A] "The effect of aging on the age-wage profile in Japan" <i>Journal of the Japanese and International Economies</i>, 2022.</p> <p>[B] "Price Index Numbers under Large-Scale Demand Shocks—The Japanese Experience of the COVID-19 Pandemic." (with Naohito Abe and Hideyasu Sato), <i>Journal of Official Statistics</i>, 2022.</p>
<p>【連絡先】</p> <p>toshikatsu-inoue @biwako.shiga-u.ac.jp</p>	
<p>【スキル】</p> <p>経済モデリング/データ分析/ プログラミング(R, python 等)</p>	<p>企業・自治体へのメッセージ</p> <p>直面している課題について協力できることがあれば是非ご相談下さい。</p>